

活力ある都市農業を未来へ



「横浜都市農業推進プラン 2024-2028」をとりまとめました

横浜市では、活力ある都市農業の展開を目指して、概ね10年後の横浜の都市農業を展望しつつ、具体的に取り組む農政事業に関する5か年の計画として「横浜都市農業推進プラン」を策定しています。

このたび、2023（令和5）年度に現行プランが終了するため、その成果や横浜の農業が抱える課題、近年の社会情勢の変化等を踏まえ、2024（令和6）年度から2028（令和10）年度に進める取組をまとめた「横浜都市農業推進プラン2024-2028」を策定しました。

1 計画期間

2024（令和6）年度から2028（令和10）年度までの5か年

2 「横浜都市農業推進プラン 2024-2028」の内容

(1) 基本理念 『活力ある都市農業を未来へ』

(2) おおむね10年後の目標

目標1：市内の各農業地域の特性を十分に生かし、新たな技術を積極的に取り入れ、新規就農者も含め意欲ある農家により元気な横浜の農業が展開されています。

目標2：良好な農景観の形成や生物多様性の保全にも寄与する、まとまりのある優良な農地が形成されています。

目標3：市民が農に関わる機会が市内全域で増えるとともに、地産地消が進んでいます。



新規就農者も含めた多様な担い手による横浜の農業の展開



良好な農景観・まとまりのある優良な農地の形成



子育て世代をはじめとした多くの市民の農体験・地産地消

(3) 計画の柱

計画の柱1：持続できる都市農業を推進する

農業生産基盤整備の支援や生産振興を図るとともに、多様な担い手の確保や支援により、将来にわたり持続可能な都市農業を推進する取組を展開します。

計画の柱2：市民が身近に農を感じる場をつくる

良好な景観形成や生物多様性の保全など、農地が持つ環境面での役割や機能に着目した取組、地産地消や農体験の場の創出など、市民と農の関わりを深める取組を展開します。



畑地かんがい施設を整備したキャベツ畑



青空市・マルシェ等の開催

3 「横浜都市農業推進プラン 2024-2028」の閲覧方法

「横浜都市農業推進プラン 2024-2028」は、環境創造局*ホームページに掲載します。

*令和6年4月から「みどり環境局」に変更になります。

(<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/nochi/nougyou/nougyouuishinplan.html>)



お問合せ先

環境創造局農政推進課長 朝倉 友佳 Tel 045-671-2605